

# 国際展示場の開業イベント

## eスポーツ動画で世界配信

県議会二月定例会は四日、伊藤勝人議員(自民、春日井市)、高橋正子議員(新政あいち、一宮市)、渡会克明議員(公明、豊橋市)の各県議団長が代表質問した。大村秀章知事は、八月末にオープンする県国際展示場(アイチ・スカイ・エキスポ)の開業イベントとして開くeスポーツの国際大会の運営に、よしもとクリエティブ・エージェンシー(大阪市)などが参画し、対戦の様子を動画で世界配信する計画を紹介。「これまでに類を見ない大規模なイベントにしたい」と述べた。

(中崎裕、中尾吟、安藤孝憲)

### 県議会

代表質問

伊藤議員が展示場の活用方法を尋ねたのに答えた。eスポーツは対戦型コンピュータゲームで争う競技。アジア競技大会の競技として採用されるなど、近年、欧米やアジアなど世界



伊藤勝人議員



高橋正子議員



渡会克明議員

的に人気が高まっている。県などは展示場オープンに合わせ、八月三十一日と九月一日に国際大会を開く予定で、試合の模様は世界的動画配信サービス「twitich(ツイッチ)」で配信する。

同社はeスポーツのプロチーム運営やイベント開催

県は今後、カードゲームやサッカー、格闘ゲームなど多岐にわたる競技種目の中から、どのゲームを採用するかなどを検討する。大村知事は「eスポーツとエンターテインメントを融合

させた、日本初のイベントとしていく」と意気込みを語った。

### 認可外保育施設の指導、監督を強化

#### 幼保無償化対応で

県は十月に始まる幼児教育・保育無償化への対応として、認可外保育施設への指導、監督を強化する。各市町村で無償化を円滑に始められるよう、県の積極支援を求めた渡会議員に対

し、大村知事が答えた。幼保無償化を巡っては、十月から実施するための子ども・子育て支援法改正案が国会で審議中。可決されれば、保育士の人数など国の指導監督基準を満たす認可外保育施設は自動的に無償となり、満たしていない場合も五年間は猶予期間として対象に含まれる。

認可外施設の利用者が増えることも見込まれ、県は事故防止に向けた研修会や、経験豊富な保育士らによる巡回指導を新たに実施。園児がうつぶせ寝中に窒息する事故を防ぐため、呼吸を確認するセンサーを購入する認可外施設には、県が費用の一部を助成する。

### 全公立高で消費者教育 20年度から

成人年齢が十八歳に引き下げられる二〇二二年四月に向け、県は一九年度、県消費生活総合センターに「消費者教育コーディネーター」を配置し、二〇年度から県内の全公立高校と特別支援学校で消費者教育を実施する。高橋議員の質問に大村知事が明らかにした。

県は一〇年度から、年間三校ほどを消費者教育研究

職員のコディネーターが各校との調整役を担う。県県民生活課によると、一七年度に県内の消費生活相談窓口寄せられた若者の相談は、十九歳が二百八十三件(計三千四百万円)で、二十歳は四百七十七件(計一億五千二百万円)。成人後にマルチ商法やデイト商法などに巻き込まれることが多く、これまでは親が契約を取り消すことができた十代のトラブル増加が懸念されている。

授業には消費生活相談員のほか、弁護士、司法書士といった消費者問題の専門家も派遣する計画で、県